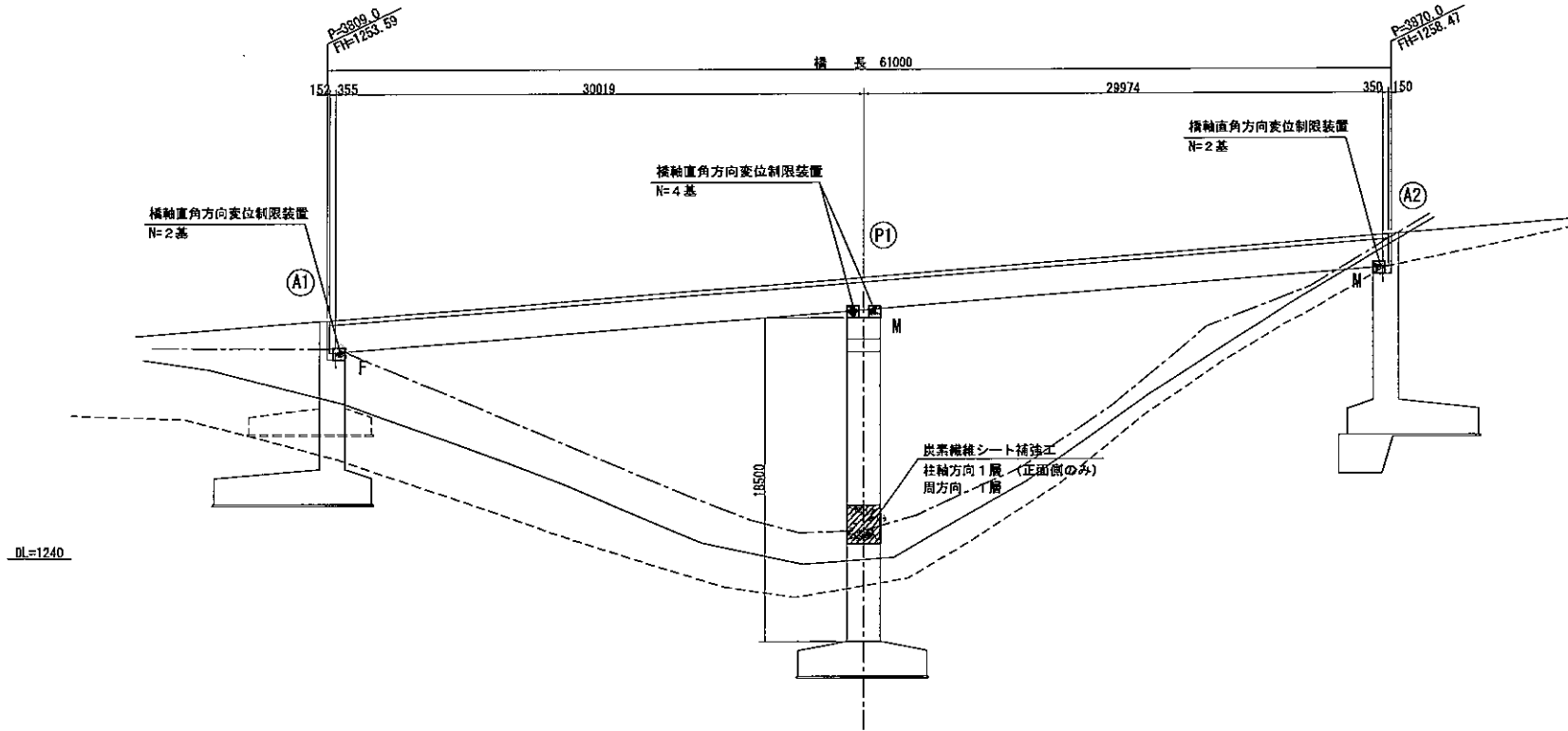
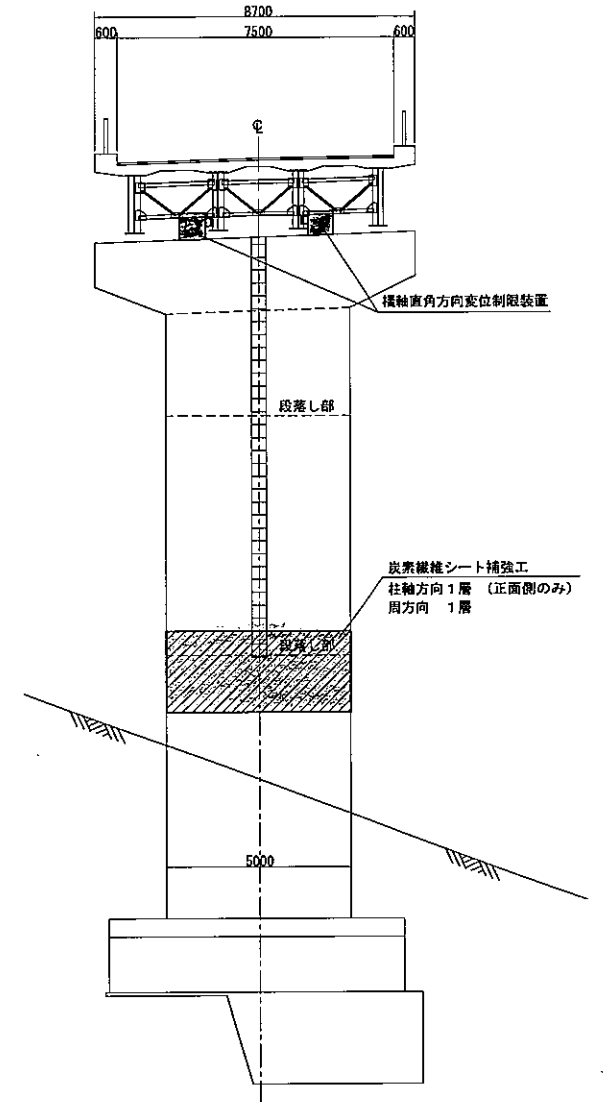


# 西餅屋橋補修工一般図

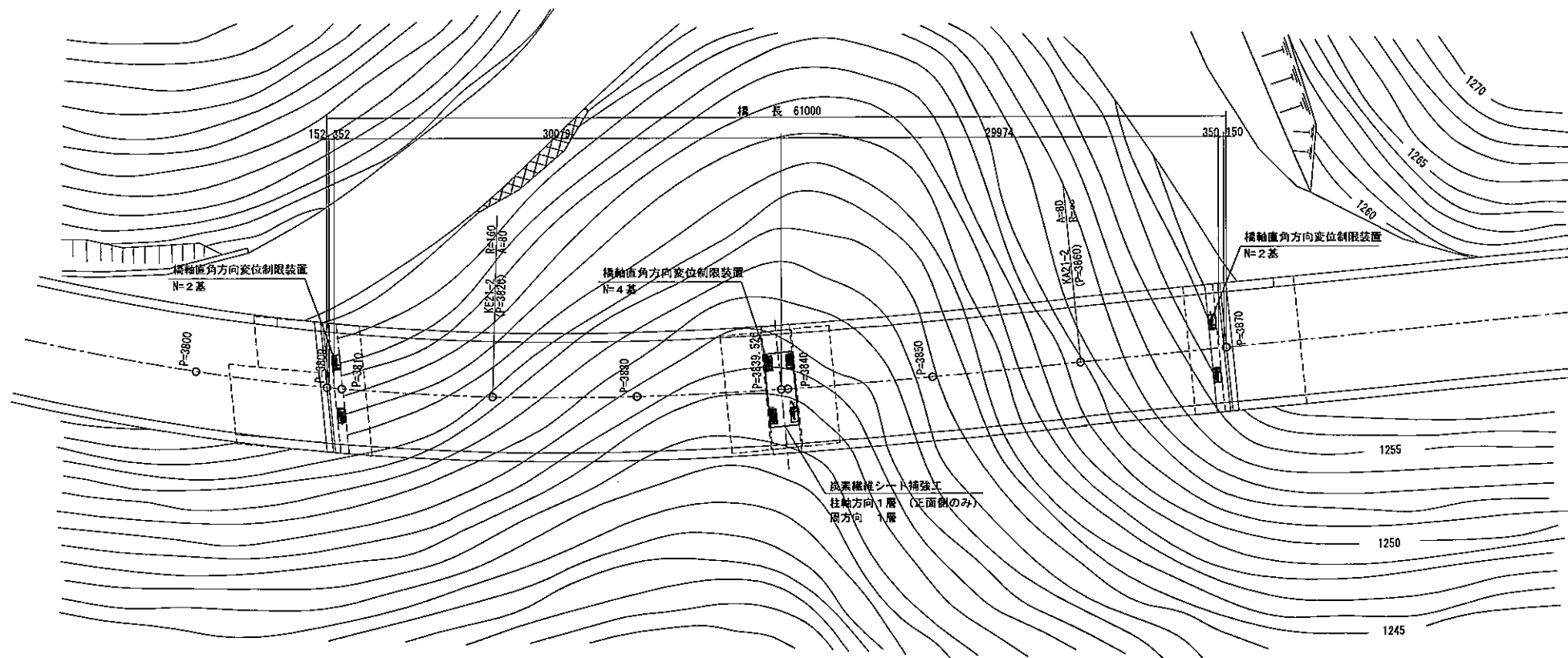
側面図 S=1:200



断面図 S=1:100



平面図 S=1:200



補強工一覧表

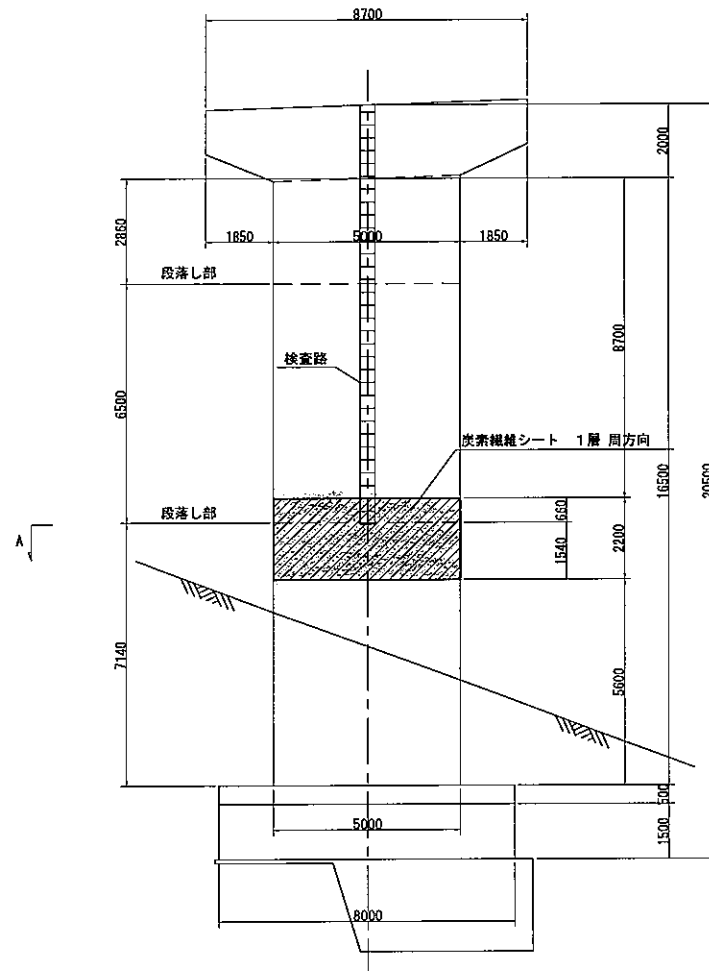
補強箇所	橋軸直角方向変位制限装置	炭素繊維シート補強工	
		柱軸方向	周方向
(A1)	N=2基	—	—
(P1)	N=4基	1層 (正面側のみ) (目付量200g/m <sup>2</sup> )	1層 (目付量200g/m <sup>2</sup> )
(A2)	N=2基	—	—

## 美 施 図

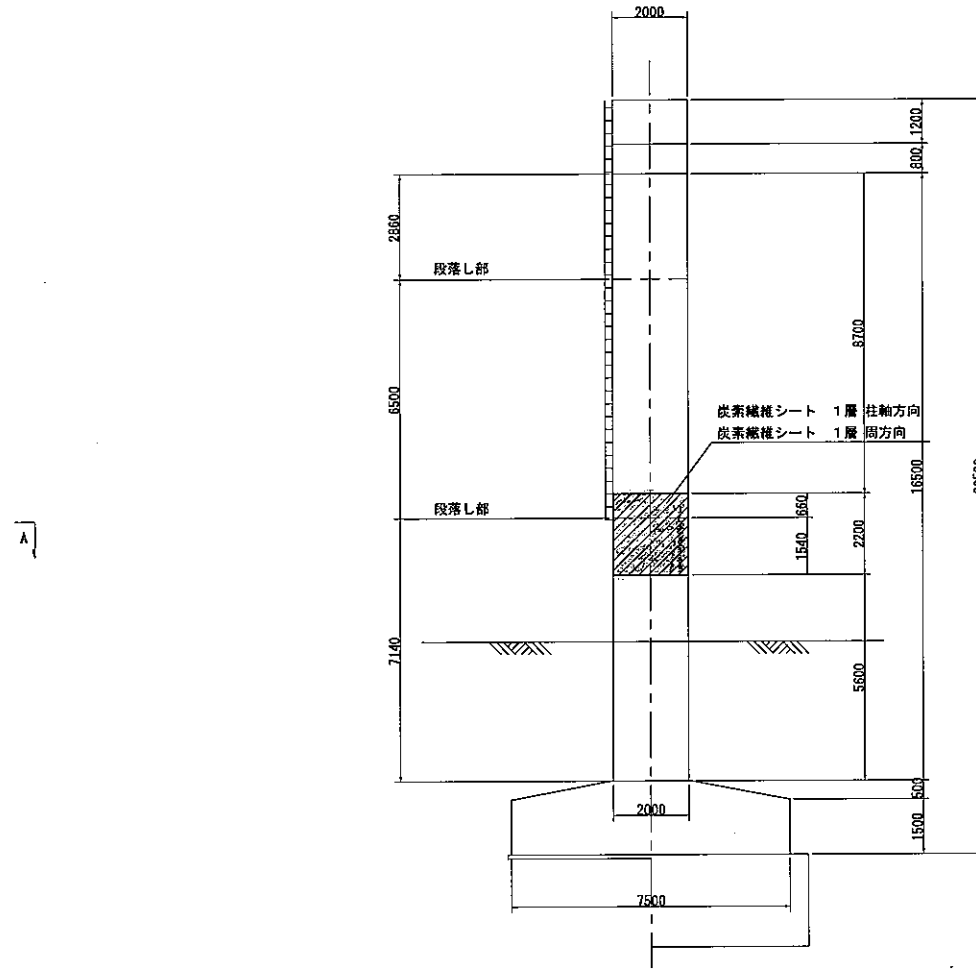
平成 19 年度	工事
番号 4/9	西餅屋橋補修工一般図 図示
(国) 142号	
諏訪郡 下諏訪町 西餅屋～羅橋 (西餅屋橋)	
所長	岡 隆 設計
副所長	長 野 県 道 路 公 社
設計会社 (株) フンドー	管理技術者 高 野
	監査技術者 兵 島
測量会社	主任技術者
調査会社	主任技術者

# 炭素繊維シート補強工構造図 (P1橋脚)

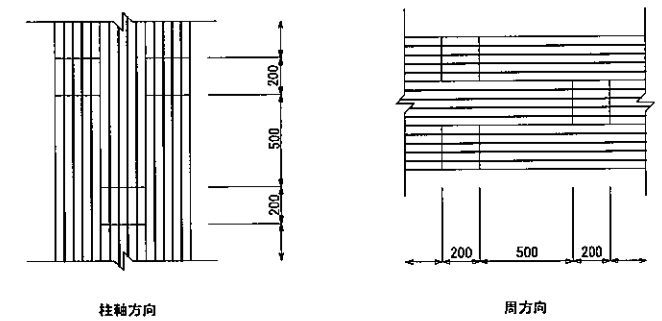
正面図 S=1:100



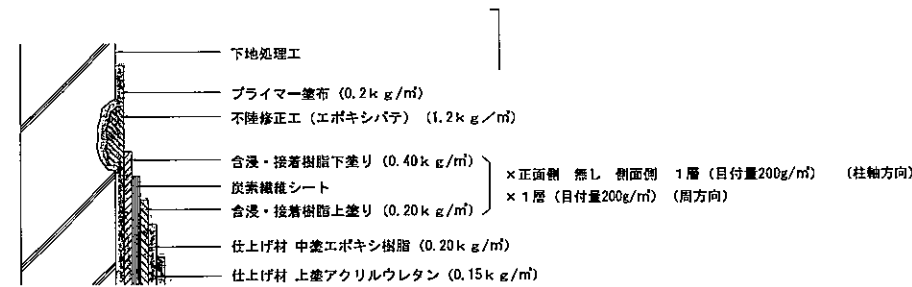
側面図 S=1:100



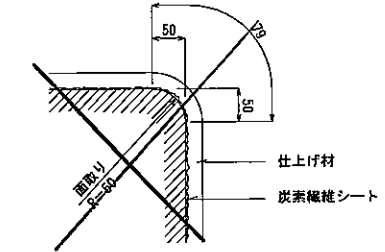
炭素繊維重ね継ぎ手詳細図



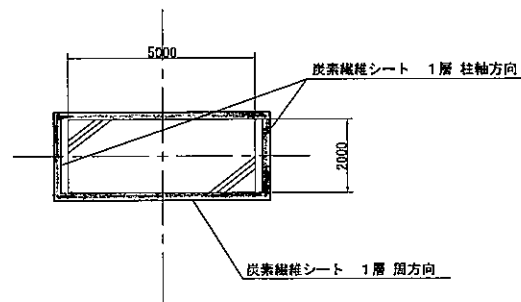
炭素繊維シート補強施工断面図 (参考図)



コーナー部詳細図



A-A 断面図 S=1:100



炭素繊維シートの種類

分類	高強度
引張強度	3.4kN/cm <sup>2</sup>
ヤング係数	230kN/cm <sup>2</sup>
厚さ	柱軸方向
	周方向
	0.111mm (目付量200g/m <sup>2</sup> )
	0.111mm (目付量200g/m <sup>2</sup> )

- 特記事項) 1. 炭素繊維シートの繊維方向の重ね継ぎ手は、20cmのラップ長とする。  
 2. 継ぎ手位置は同一箇所に設けず50cm以上互いにずらすこと。  
 3. 各構造寸法は、計算書や測量調査結果等により推定した値である。  
 施工にあたっては、現地測定を行い設計図との照合を行う事。

## 実施図

平成	年度	工事
5/9	炭素繊維補強工 構造 (P1橋脚)	図 図 示
(図) 142号		
諏訪郡 下諏訪町 西新屋〜橋本 (西新屋橋)		
所長	課長	原 貴 設計
長野県道路公社		
設計会社	(株) アンド	管理技術者 高野 隆彦 技術者 長島 剛
測量会社		主任技術者
調査会社		主任技術者

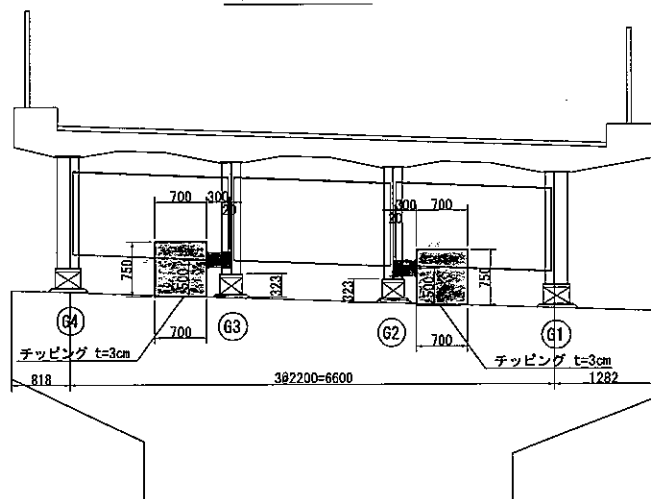


# 西餅屋橋変位制限構造 (橋軸直角方向) 詳細図 (その2)

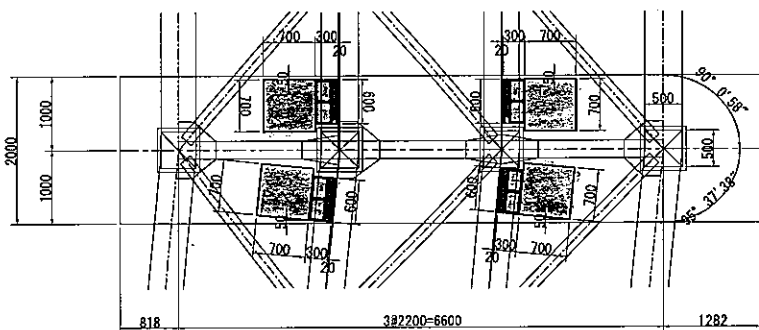
(4)

## P1橋脚取付部

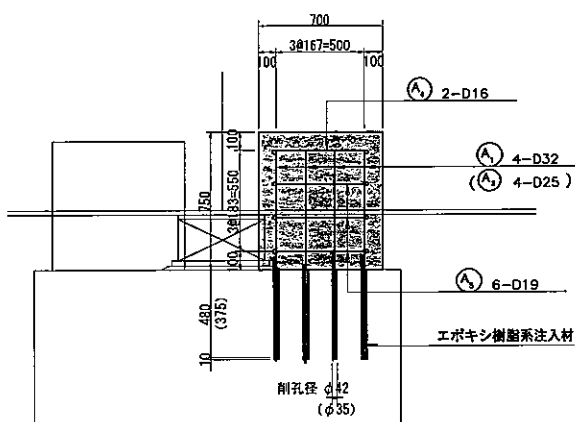
側面図 S=1:50



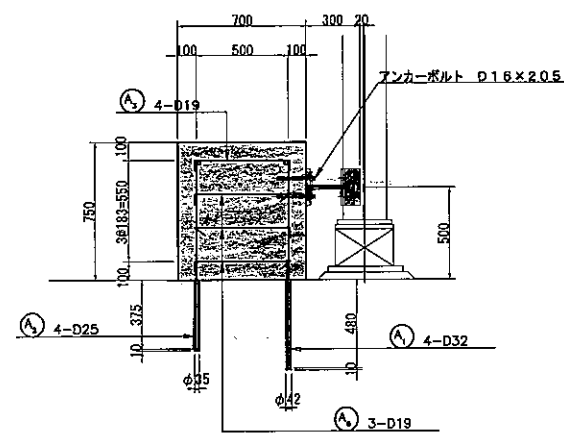
平面図 S=1:50



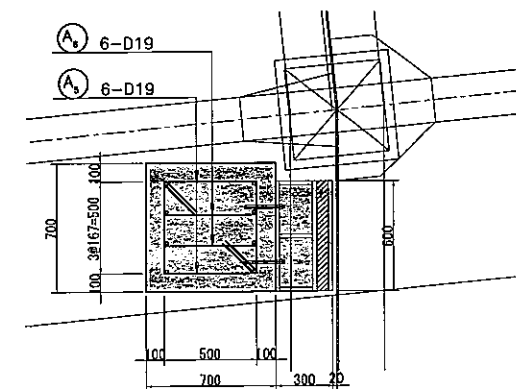
側面図 S=1:20



正面図 S=1:20

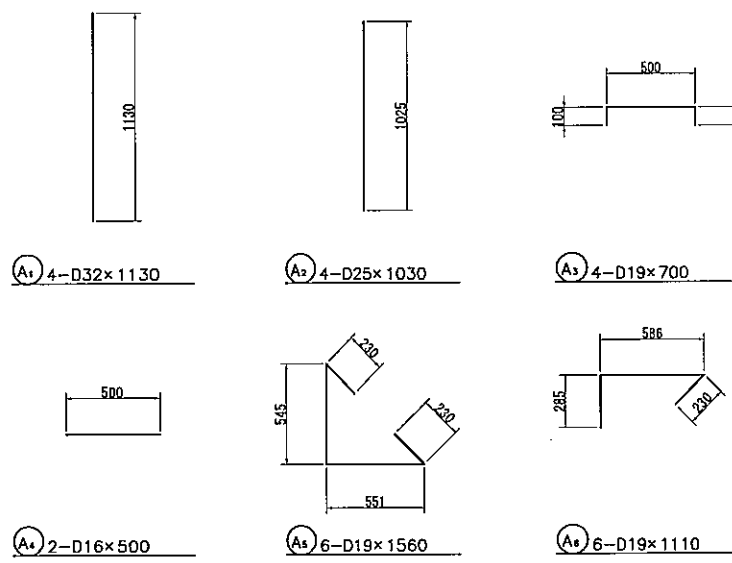


断面図 S=1:20



注: 4箇所同形状のため、GSP2側部を示す。

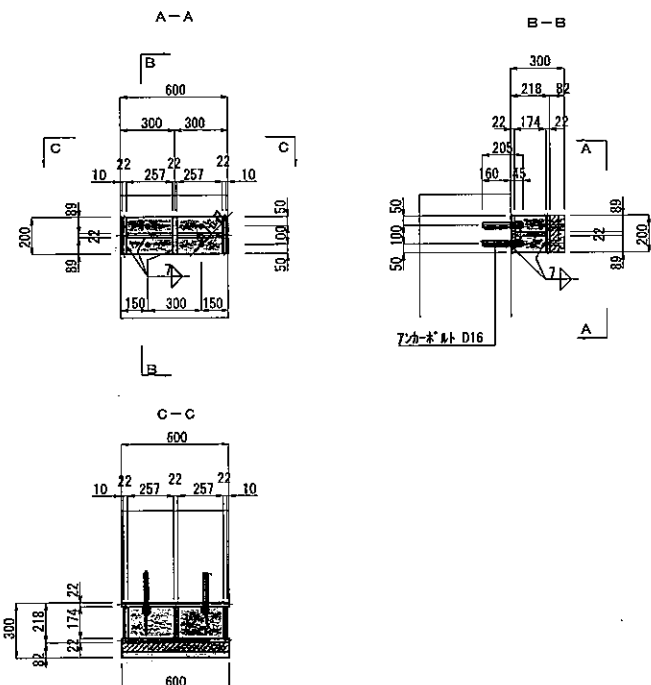
鉄筋加工図 S=1:20



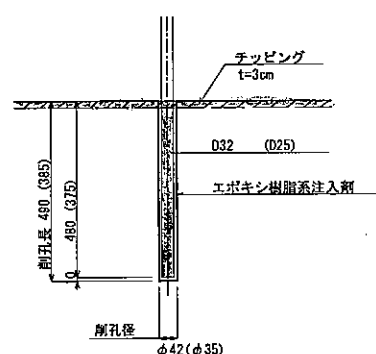
鉄筋重量表 (1箇所当り)

記号	径	長さ mm	本数	単位重量 kgf/m	本当重量 kgf	重量 kgf	形状	摘要
A1	D32	1130	4	6.230	7.040	28.2		
A2	D25	1030	4	3.980	4.099	16.4		
A3	D19	700	4	2.250	1.575	6.3		
A4	D16	500	2	1.560	0.780	1.6		
A5	D19	1560	6	2.250	3.510	21.1		
A6	D19	1110	6	2.250	2.498	15.0		
						D16	1.6 kg	
						D19	42.4 kg	
						D25	16.4 kg	
						D32	28.2 kg	
						合計	88.6 kg	

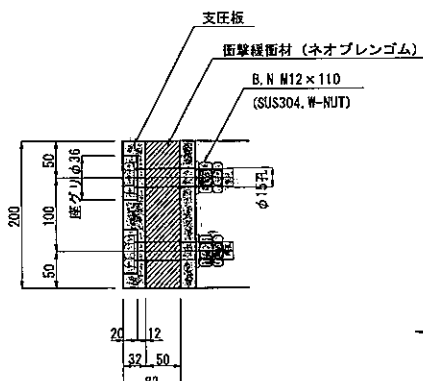
ブラケット加工図 S=1:20



樹脂アンカー詳細図 S=1:10



緩衝ゴム詳細図 S=1:5



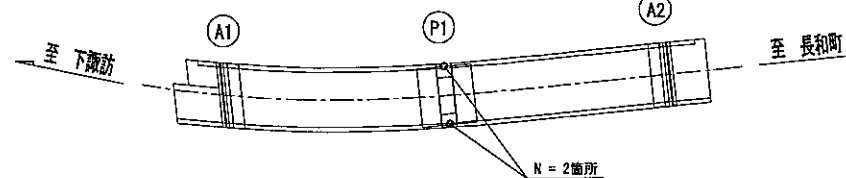
材料表 (ブラケット1箇所当たり)

種別	寸法 (mm)	長さ (mm)	個数	単位重量 (kgf/m)	1個重量 (kgf/個)	重量 (kgf)	材質	摘要
FL6 PL	200 x 22	600	2		20.7	41.4	SM400A	
WEB PL	174 x 22	200	3		6.0	18.0	SM400A	
STIFF PL	174 x 22	257	2		7.7	15.4	SM400A	
支柱板	200 x 32	600	1		30.1	30.1	SS400	
ANCHOR BOLT	D 16	205	4	1.560	0.320	1.3	SD345	
ナット	M16		4		0.071	0.3	SUS304	W-NUT, 1W
BN	M12	110	4		0.152	0.6	SUS304	W-NUT, 2W
						合計	107.1 kgf	

衝撃緩衝材 (ネオプレンゴム相当) t=50mm 面積 A=1,200 cm<sup>2</sup>

1. 鋼材加工、取付位置は現場実測の上、決定すること。
2. 特記なき鋼材はSM400とする。
3. スカールアップはR35とする。
4. 接着面は素地調整を行うこと。
5. 橋座鉄筋を切断しないように、アンカー削孔前に事前に鉄筋位置を調査の上削孔のこと。

位置図



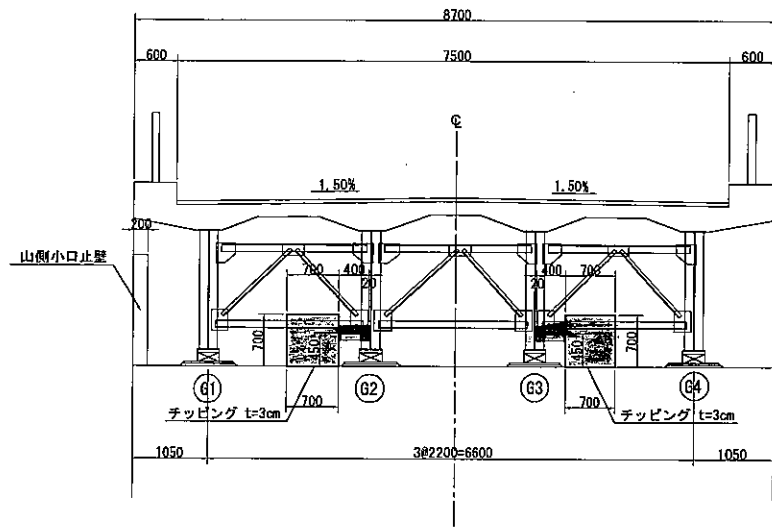
## 実施図

平成	年度	工事
7	7	変位制限構造 (その2) P1部
図示		
(四) 142号		
海防部 下流側 西餅屋橋~西餅屋橋 (西餅屋橋)		
所長	課長	主任
長野県道路公社		
設計会社 (株) フォンド	管理技術者	高野
調査会社	調査技術者	兵島
測量会社	主任技術者	
調査会社	主任技術者	

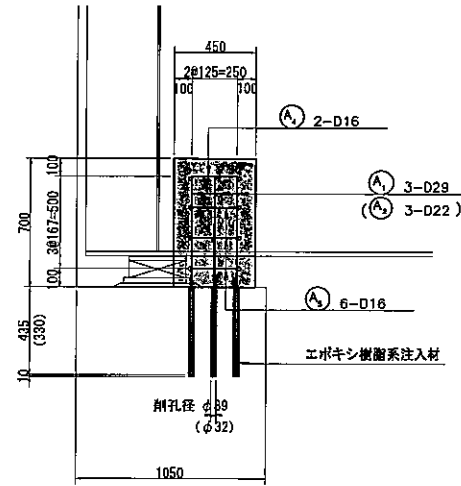
# 西餅屋橋変位制限構造 (橋軸直角方向) 詳細図 (その3)

## A2橋台取付部

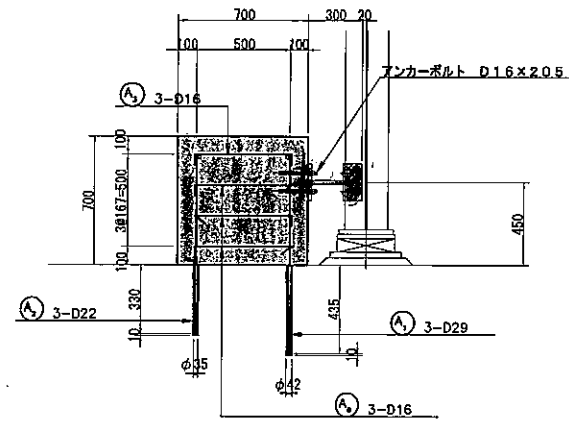
側面図 S=1:50



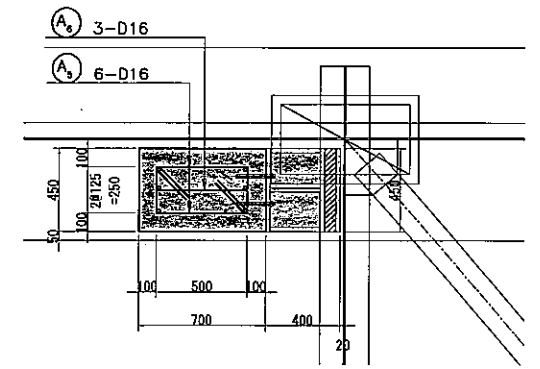
側面図 S=1:20



正面図 S=1:20

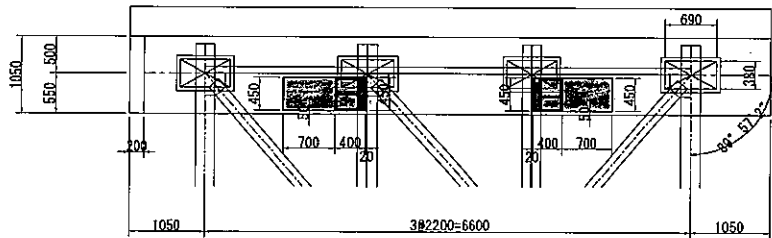


断面図 S=1:20

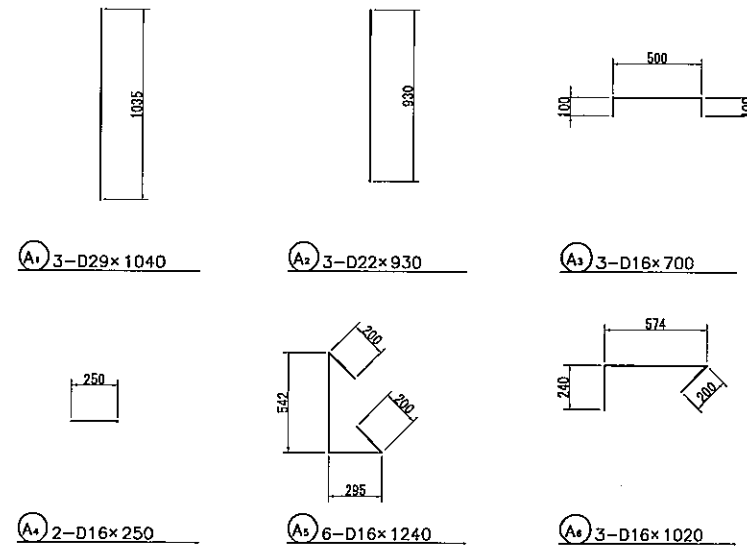


注: 左右対称のため、G2部を示す。

平面図 S=1:50



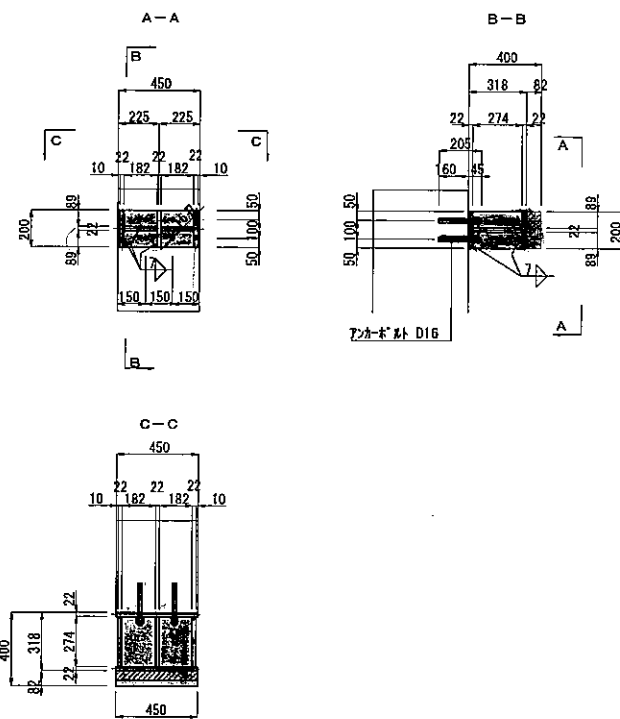
鉄筋加工図 S=1:20



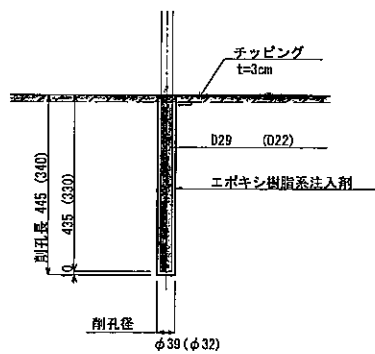
鉄筋重量表 (1箇所当り)

記号	径	長さ mm	本数	単位重量 kgf/m	本当重量 kgf	重量 kgf	形状	摘要
A1	D29	1040	3	5.040	5.242	15.7		
A2	D22	930	3	3.040	2.827	8.5		
A3	D16	700	3	1.560	1.092	3.3		
A4	D16	250	2	1.560	0.390	0.8		
A5	D16	1240	6	1.560	1.934	11.6		
A6	D16	1020	3	1.560	1.591	4.8		
					D16	20.5 kg		
					D22	8.5 kg		
					D29	15.7 kg		
					合計	44.7 kg		

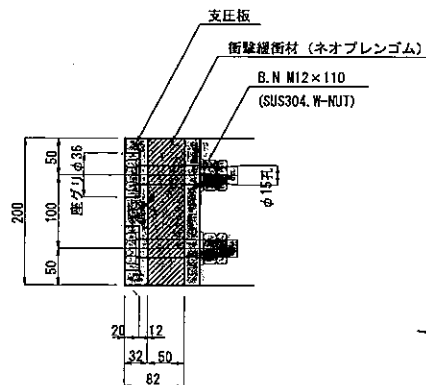
ブラケット加工図 S=1:20



樹脂アンカー詳細図 S=1:10



緩衝ゴム詳細図 S=1:5

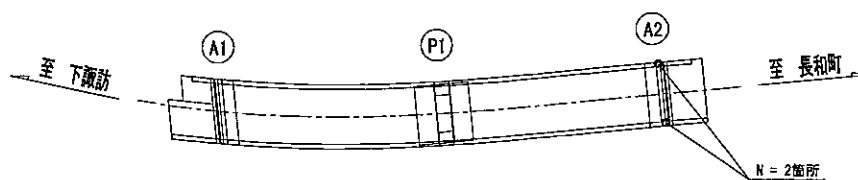


材料表 (ブラケット1箇所当たり)

種別	寸法 (mm)	長さ (mm)	個数	単位重量 (kgf/m)	1個重量 (kgf)	重量 (kgf)	材質	摘要
FLG PL	200 × 22	450	2		15.5	31.0	SM400A	
WEB PL	274 × 22	200	3		9.5	28.5	SM400A	
STIFF PL	274 × 22	182	2		8.6	17.2	SM400A	
支圧板	200 × 32	450	1		22.6	22.6	SS400	
ANCHOR BOLT	D 16	205	4	1.560	0.320	1.3	SD345	
ナット	M16		4		0.071	0.3	SUS304	W-NUT, 1W
BN	M12	110	4		0.152	0.6	SUS304	W-NUT, 2W
					合計	101.5 kgf		

- 注) 1. 鋼材加工、取付位置は現場実測の上、決定すること。  
 2. 特記なき鋼材はSM400とする。  
 3. スカラップはR35とする。  
 4. 接着面は素地調整を行うこと。  
 5. 橋梁鉄筋を切断しないように、アンカー削孔前に事前に鉄筋位置を調査の上削孔のこと。

位置図



### 実施図

平成	年度	工事
第	号	変位制限構造 (その3) A2部
(国) 142号 諏訪郡 下諏訪町 西餅屋橋～緑橋 (西餅屋橋)		
所長	課長	主任技師
長野県	建設部	橋梁課
設計会社 (株) フンドー	管理技師	高野
測量会社	主任技師	岡田
調査会社	主任技師	高野